

思いや意図をもって表現を工夫する音楽づくりの授業モデル例

本モデル例は、今回新設された〔共通事項〕を生かし、イメージと音楽の要素とを結び付け、「〇〇な感じを出すために、△△を～したい。」など、より具体的に思いや意図をもって表現する音楽づくりのモデル例である。

題材に、子どもたちの暮らす学校周辺の地域を取り上げ、テーマを設定して音楽づくりを進めることで、より具体的なイメージをもって表現を工夫し、音楽のおもしろさを感じ取らせることのできる学習の展開となっている。

- 1 題材名 「ふるさと谷山」を音楽で表そう 【第4学年】
教材 「ふるさと谷山」を音楽で表そう

2 題材の目標

- 様子をイメージして音楽で表すことに関心をもち、進んで音楽づくりの学習に取り組むことができる。 【音楽への関心・意欲・態度】
- イメージと音楽の要素とを結び付けて、音楽を工夫することができる。 【音楽的な感受や表現の工夫】
- 様子を表す音楽をつくって表現することができる。 【表現の技能】
- イメージと音楽の要素とを結び付けながら音楽を聴くことができる。 【鑑賞の能力】

3 題材について

本題材は、いろいろな音の響きや組合せを楽しみながら様々な発想をもって即興的に表現したり、音を音楽に構成する過程を大切にしながら音楽の仕組みを生かし、自分の思いや意図をもって進んで音楽をつくったりすることをねらいとしている。

児童はこれまでの学習で主旋律に合うふしを考えたり、楽器の組合せを工夫して演奏をしたりする学習をしてきている。ここでは、自分たちの暮らしている谷山の町を取り上げることで、音楽づくりへの意欲をもたせるとともに、より具体的なイメージをもたせることができると考える。また、そのイメージを音楽にしていくために、音楽の諸要素に着目させ、イメージと音楽の要素とを結び付けることで、音楽のおもしろさを感じ取らせるとともに、「〇〇な感じを表すために△△を～したい。」など、具体的な思いや意図をもって表現を工夫していくことができると考える。

4 指導計画（全6時間）

時	教材	主な学習活動	指導上の留意点
1	「ふるさと谷山」を音楽で表そう	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「ふるさと谷山」について話し合う。 ○ グループごとに、自分たちが表したい「ふるさと谷山」の様子をイメージしてテーマを設定し、楽器を選ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然，生活，郷土などの様々な視点でふるさとを見つめ，テーマを設定することができるようにする。 ・ イメージマップを作成し，題材をとおして意欲をもって取り組めるようにする。
2		<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分たちが表したい「ふるさと谷山」の様子イメージと，音楽にしていく際に必要な音楽の要素について話し合う。 ○ イメージと音楽の要素とを結び付けながら，音楽づくりをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「○○な様子（感じ）を表すために△△を～したい。」というように，イメージと音楽の要素とを結び付けることができるようにする。 ・ 音楽の要素については，短冊カード等で掲示しておく。
3			<ul style="list-style-type: none"> ・ ホワイトボードを活用し，記録しながら話し合うことができるようにする。 ・ 創作活動がスムーズにいくようにグループ及び楽器配置の計画，楽器やマレット等の準備をしておく。
4		<ul style="list-style-type: none"> ○ 中間発表をし，困っていることやもっとこうしたいという願いを交流する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 相互に音楽を聴き合い，自分たちが困っているところや，こうしたらよいというアドバイスを付箋紙に記入させ，参考にできるようにする。
5		<ul style="list-style-type: none"> ○ アドバイスをもとに，つくった音楽を練り上げる。（本時） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホワイトボードを活用しながら，前時で得たアドバイスを基に，どのように工夫していくかグループで確認してから活動に入るようにする。 ・ 活動の途中で相互に聴き合ったり，困っている点を取り上げ，アドバイスを得られたりできる場を設定する。
6		<ul style="list-style-type: none"> ○ 最終発表をし，学習のまとめをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ イメージと音楽の要素を中心に聴く観点を与え，よかった点や工夫している点などを互いに認め合い，成就感や満足感を得ることができるようにする。

※文章中の太字部分は，イメージと音楽の要素とを結び付けて表現に生かす活動で，特に大事にしたい部分

5 本時 (5/6)

(1) 目標

自分たちの表現したい様子のイメージと音楽の要素とを結び付けながら、音楽を工夫することができる。
【音楽的な感受や表現の工夫】

(2) 指導に当たって

本時は、自分たちの設定したイメージに合うような音楽づくりをする時間となる。そこで、音楽の要素をどのように工夫すればよいかを考えることができるようにするために、活動の途中で他のグループの作品を聴く活動を取り入れ、アドバイスや意見を交流できるようにする。最後に、自分たちの思いが伝わった喜びを味わったり、自分たちの音楽づくりに取り入れたいことなどを話し合ったりする相互発表の場の設定を行うようにする。

(3) 実際

過程	主な学習活動	単	○教師の具体的な働きかけ ※評価規準	
課題把握 課題追求 表現の工夫 相互発表鑑賞 まとめ	1 前時までの学習を振り返り、本時で工夫する音楽の要素を、グループごとに確認する。 ・リズム・音色・速度・強弱 ・音の重なり・変化	(分) ↑ 10 ↓ 30 ↓ 5 ↓	○教師の具体的な働きかけ ※評価規準 ○ 本時の学習に見通しをもって取り組むことができるようにするために、学習の流れをあらかじめ板書するとともに、イメージマップを掲示しておく。	イメージに合った表現をするために、音楽の要素をどのように工夫すればよいか、明確にして追求活動に臨ませるようにしている。
	2 本時のめあてを確認する。 イメージと要素の結びつきを工夫して「ふるさと谷山」を音楽で表そう。		○ 本時のめあてを導くことができるようにするために、音楽のどの要素をどのように工夫すればよいかを、前時に話し合ったことを基にホワイトボードに整理する。	イメージと音楽の要素とを結び付けながら、グループで工夫できるようにワークシートやホワイトボードを活用している。
	3 自分たちの表したいイメージと音楽の要素とを結び付けながら、音楽づくりをする。 (1) グループごとに音楽づくりをする。 ・ 祭りでみんなで楽しく踊っている様子を表すために、全員でリズムを揃えて、強く鳴らそう。		○ ワークシートを活用し、グループで意見を交流させながら、始め・中・終わりを工夫していけるようにする。	追求する中で、さらに自分たちの表現を深め広げたり、行き詰まった活動のヒントを得たりすることができるように、相互に聴き合い、意見を交流させる場を設定している。
	(2) 友達や教師のアドバイスを基にさらにつくる。 ・ 谷山の町に駅から少しずつ人が降りてきた様子を表すために、小さい音からだんだん大きく、低い音から高くしていこう。		○ 自分たちの音楽づくりに生かすことができるようにするために、他のグループの曲を聴いたり、行き詰まっているグループの意見を取り上げて、アドバイスしたりする。	
	4 相互発表をする。		○ 数グループの発表を聴き合い、アドバイスをもとに工夫した自分達の音楽のよさが、伝わった喜びを味わわせる。 ※ イメージと音楽の要素とを結び付けながら、音楽を工夫している。【活動の様子を観察】	本時の評価規準を基に、実際の活動の様子の観察や振り返りの学習カードの記録等により、評価ができるようにしている。
5 学習のまとめをする。 ・ 祭りのにぎやかな感じを出すために、音の重なりを工夫することができた。	○ 次時の活動に意欲をもたせるために、他のグループの音楽で参考になったことやもっと工夫したいことを振り返らせる。 ○ 自分やグループの高まりについて振り返り、学習カードに記入する。	振り返りは、具体的な言葉で表現することができるようにしている。		